



私のUniversal Action

JAPAN UNI SUMMIT 2024



JAPAN UNI SUMMIT 2024

開催の目的

本サミットは世界の海の未来を”うに”を通じて考えて行くサミットです。

約30年前は天然の昆布やわかめが生い茂り、日本では豊かな水産業が営まれていました。

しかし、国内産のうに生産量は、ここ数年大幅に減少しており全国的な「磯焼け」によって実入りが悪化しています。

「磯焼け」は海の砂漠化とも呼ばれ、海藻が消失する現象ですが、温暖化による海水温の上昇で、

うにの活動が活発化し、餌である海藻を芽から根こそぎ食べ尽くしてしまう食害が原因の1つと考えられています。

オーストラリアでは海藻の一種であるジャイアントケルプの森が、数十年前と比較し95%以上消滅していると言われており、

まさにこれは世界が直面するUNiversal Agenda(世界的検討課題)です。

私たちは、磯焼けによる餌不足で実入りが悪くなった痩せうにを廃棄するのではなく、

美味しいうにに変える「うに再生養殖」、「藻場再生」の取り組みを行っておりますが、

未だこの認知度は低く、様々な観点、手法からアプローチしていかなければならないと大きな危機感を感じております。

うに再生養殖を加速し、日本のみならず世界でのブルーカーボンの造成を促進するため、

各界でリーダーシップを発揮されている皆様と一緒に『世界の海の未来を豊かにする』手法である

UNiversal Actionを検討していけたらと考えております。

オープニング



下岸坪 之典

北三陸ファクトリー/KSF Australia
代表取締役社長 CEO
TASMANIA BLUE SEAFOOD Director



田村 浩平

北三陸ファクトリー/KSF Australia
Chief Strategy Officer
TASMANIA BLUE SEAFOOD Director



Dr. Masayuki Tatsumi

Sea Forest
Head of Research and Development



Dr. John Keane

Wild Fisheries Program Leader,
Dive Fisheries Team Leader
Institute for Marine and Antarctic Studies
(IMAS), University of Tasmania.

登壇者

テーマ 豊かな海の未来を作るために私たちが出来ること

小山 薫堂氏



放送作家・脚本家・京都芸術大学副学長
株式会社オレンジ・アンド・パートナーズ 代表取締役社長
株式会社下鴨茶寮 代表取締役社長
大阪・関西万博 テーマ事業プロデューサー

渡邊 華子氏



株式会社リビエラ 専務取締役
NPO法人リビエラ未来創りプロジェクト 理事長
一般社団法人
ブルーカーボンベルト・リビエラ研究所 代表理事

末吉 里花氏



一般社団法人エシカル協会代表理事

2024
7
19
JAPAN
UNI
SUMMIT

ア
ジ
エ
ン
ダ

11:30	鎌倉駅到着
12:00	リビエラ逗子マリーナ到着 ネットワーキング
12:40	オープニング
13:30	パネルディスカッション
15:10	海を守る仲間たちによるピッチ
16:10	テーマ別ディスカッション
18:00	ディナー
19:20	閉会の挨拶
19:30	終了



私のUNiversal Action

宣言見本
お名前

私のUNiversal Action

世界的な課題であるUNiversal Agendaの解決には、
多様な分野からの包括的なアプローチが必要です。
UNiversal Actionを積み重ね、海を豊かにする第一歩を共に踏み出しましょう。
※ 本パンフレット裏表紙にご記入ください。

【助成】



【後援】

Oisix ra daichi



【協力】



【協力】



【協力】



【協力】

